



全国芽生会連合会

令和5年度 東北越ブロック会議報告書

開 催 日：令和5年5月22日(月)14時00分～

開 催 場 所：ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING

岩手県盛岡市盛岡駅前北通2-27

懇親会会場：駒 龍 岩手県盛岡市本町通1-8-4

参 加 者：会議出席41名・懇親会47名・二次会35名



令和5年度 東北ブロック会議次第

司 会 盛岡芽生会 岩 館 尚

1. 開会の言葉
2. 理事長挨拶
3. 昨年度全国大会開催地謝辞
4. 議 事

東北越ブロック長 竹 中 亨 考
全国芽生会連合会理事長 五百木健次
広島芽生会 下 原 一 晃

- (1) 東北越ブロック令和4年、5年事業・決算について前・現東北越ブロック長
- (2) 全国芽生会連合からの報告 五百木 健 次
- (3) 第69回全国芽生会連合会八戸大会 竹 中 亨 考
- (4) 「和食の祭典in徳島」 徳島芽生会 清 水 康 平
- (5) 各地芽生会活動報告
- (6) その他

5. 業者プレゼン
6. 閉会のことば

関東甲信ブロック長 山 口 晃 平

*講演会(午後4時～)講師 田山 貴紘氏 タヤマスタジオ株式会社代表取締役



■会議議事録 1

定刻の2時に司会進行の盛岡芽生会 岩館 尚氏より開会宣言

開会のことばを東北越ブロック長の竹中亨考氏

五百木理事長挨拶：就任半年になります、今年は八戸の全国大会及び徳島主管による和食の祭典等控えております。皆様方のご協力無くして事業達成できませんので、引き続き宜しくお願い致します。続いて、昨年度全国大会開催地謝辞を広島芽生会下原理事長から頂く予定でしたが、G7サミットの関係で出席が叶わないとの事から、御礼のメッセージを五百木理事長の代読が有り、改めて八戸大会時に皆様方に御礼をさせていただきます。

議 事

- (1) 東北越ブロック令和4年、5年事業・決算について、竹中東北越ブロック長の進行より、前岩館東北越ブロック長から令和4年度の収支報告（詳細は別紙の通り）があり、令和5年度の事業計画（案）並びに収支予算（案）について、竹中東北越ブロック長から去年まではコロナ禍による会費の徴収はしなかったが、今年から会費徴収についてご承認を頂いた上で、予算を組みました。

- (2) 全国芽生会連合会からの報告について、

五百木理事長より、本年1月18日の第1回理事会において可決決定された令和4年度事業報告並びに収支報告書、監査報告、令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）については、70万近い赤字での予算組させて頂きました。

湯木・成松理事長の2期については、コロナ禍による事業執行が困難から支出が抑えられ、剰余金が1千6百万を超える収支になった。また、鈴木理事長時代の収支は、剰余金が1千4百万の予算組で、ぐるなびからの協賛金が3百90万の収入が確保され、昨年度は2百60万と減額となり、令和5年度の事業執行に係る収支の状況について、五百木理事長から報告された。

事務局長より収支報告並びに収支予算（案）について詳細報告がされた。

（株）ぐるなびからの加盟協賛金収入について、また、本年10月からインボイス制度が施行されるが、加盟協賛金については消費税込みで現状通りの収入確保ができるとの報告があった。

五百木体制における令和5年度の基本方針は、コロナ禍で会員が減少したことと、世代交代も含め会員増強を目指して参ります。事業検討委員会を立ち上げ、委員長に東京の湧井氏、副委員長に名古屋の鈴木氏を据えて委員には、各ブロック長が就任して頂き、全国芽生会の事業内容について会報紙を作成して広く周知していく。

湧井事業検討委員長からオンライン会議を含め実施内容、情報共有（メール・FAX）について報告があった。

京都の田中委員より、京都における会合等出欠席の状況把握は、メール・FAXでは行っていない。

- (3) 第69回全国芽生会連合会八戸大会について

八戸芽生会会長の竹中会長並びに大久保実行委員長から、令和5年7月31日（月）～8月2日（水）の3日間のスケジュール等開催内容について説明があり、多くの会員の皆様の参加者を募って頂きたいと要請があった。

- (4) 「和食の祭典in徳島」について

徳島芽生会の清水会長から、令和5年10月2日（月）に開催する和食の祭典in徳島について企画段階の説明と開催場所、開催時間、開催内容等報告があり、詳細については別紙の通りである。



■会議議事録 2

(5) 各地芽生会活動報告

●秋田芽生会→会員は3名、昨年ブロック会を開催させて頂きメインは、懇親会での懇親を深めたのが主で、伝統芸能文化の芸妓についても秋田舞妓が2名増えたのを切っ掛けに、料理屋の活性化と秋田芽生会の存続を目指して参りたい。

●八戸芽生会より、全国大会の開催と5月29日（月）に開催する第10回記念八戸前沖ふぐふぐを愉しむ夕べについて詳細説明があった。

●盛岡芽生会→会員は5名、芽生会の活動については、岩舘氏が中心で活動をしている。親会（生活衛生同業組合）が実施するうなぎ祭りのお手伝いすることになっている。盛岡にも芸妓がおりますが、高齢化により若返りが必要だと考え、料理屋も含め検討している。

●仙台芽生会→会員は5名、昨年実施した和食の祭典の成功裡に終えたことで会員同士の結束が高まり、会員同士のお店に行き来するなど融和が図れ、会員増強も力を注ぎ、新たに3名程加入する方向で活動している。

●石巻芽生会より、昨年実施した和食の祭典への御礼と今後、3ヶ月に1回会合を開催することとライングループにて全国芽生会の報告等実施する予定であると同時に単体での活動ではなく仙台とも連絡を密にし、宮城県としてどうあるべきか検討して参りたい。

●新潟芽生会→会員は7名、コロナ禍により顧客の減少が見られたが、アフターコロナで外国人観光客や国内観光客が増えた傾向から、回復に向かっている。会員同士の融和が以前に増して図れた。

(6) その他

5. 業者プレゼン

- ①株式会社ぐるなび
- ②株式会社ネクシィーズ
- ③株式会社スペリオル

6. 閉会のことば

関東甲信ブロック長 山口 晃平副理事長





■懇親会風景 盛岡ならではのおもてなしに感動



駒龍の美人女将の話術と「盛岡さんさ踊り」の披露

